

風評被害をなくしましょう

1923年関東大震災が起きました。地震とその後起こった火災のため、死者は10万人以上となりました。そのさなか、災害による死者とは別に、多くの朝鮮人や中国人などが殺害される事件が起こりました。この出来事は、「朝鮮人が暴動を起す」というデマが拡がったことに起因しています。

2011年の東日本大震災でも人権侵害がありました。福島県の人々が避難先で「放射能がうつる」などの雑言を浴びせられる事例が報告されました。避難のため転校した子どもが、避難先の学校でいじめられるといった悲しい出来事もありました。また、農水産物に対して、検査に通ったにもかかわらず、放射能に汚染されているなどの風評被害もありました。

2016年に起きた熊本地震では、「動物園からライオンが逃げた」「川内原発で火災が発生」などの偽情報が、ネットにあげられるという事態が起こりました。

日常生活には様々な情報があふれています。それらの情報に振り回されないために、メディアリテラシーの考え方を、令和3年3月号の本コーナーで紹介させていただきます。今回は、風評被害の加担

- 者にならないために心がけておきたいことを紹介します。
- ①被害に遭われた方の心情を想像してみる
 - ②科学的認識をもつこと
 - ③偏見や固定観念をできるだけ排除すること
 - ④できるだけ真偽を確かめて、風評を鵜呑みにしないこと
 - ⑤おもしろがって、付和雷同することの無責任さに気づくこと
- ①については、肝に銘じておきたいものです。大切な人や物を失った経験は、誰にでもあるのではないのでしょうか。②の科学的認識とえば、敷居が高そうに思われますが、③や④を心に留めて、冷静に、科学的な根拠について考えることを大切にすればよいと思います。また、⑤については、差別をしたり、風評をばらまいたりする人は、想像力(感性)の乏しい人なのではないでしょうか。人の不幸をおもしろがることは、人としてのあり方を問われます。

風評被害は、誰しも、被る可能性があると言えるでしょう。そして、一方的なからかいや攻撃は、本当に理不尽で、被害を受けた方にとっては、到底納得できるものではありません。私たちにできることは、まず、人を傷つけるような風評

を発信しないことはもちろん、風評を安易に広めたりすることのないように心がけていくことではないでしょうか。
(参考：稲積謙二郎「同和問題の今、そして未来に向けて」)

ご案内

人権問題講演会

【日時】8月18日(水)午後2時
【場所】市サウンドハウスホール
【講師】清水 展人さん

幼いころから性別違和に悩み、それを乗り越えながら、「ありのままに生きる」生きざまを通して、性の多様性についてさまざまな啓発活動を展開。学校、行政、企業等での講演多数。日本LGBT協会代表理事
医療専門学校非常勤講師
LGBT特設電話専門相談員
作業療法士免許・中学校教職員免許取得

【演題】性の多様性
男らしく女らしくより「自分らしく生きる」

市人権推進課(市教育庁舎1階)
TEL 32・2122
FAX 33・3525
Mail:jinkensushin@city.komatsushima-tokushima.jp

市民文芸 花みずき歌壇 (381) 松並敦子・選

ビルマにて戦死の叔父の遺骨箱小石がひとつ何処の石や
江田町 深田 伴子

憧れのうだつの町に足を入れ友が主催の「書道展」訪う
横須町 福島 夢栄

時代劇チャンネル合わせ今日も待つ昔の殿様いつまでも若し
横須町 三宅 敏恵

焼肉の匂いが隠る二階まで孫の就職 祝いし夕べ
田浦町 太田カツミ

杖つきて神山桜見納めか優しき色に優しき香り
赤石町 田原トシ子

雨つぶよ来いよ来いよとあめんぼは自由自在に波紋とあそぶ
田浦町 西 教明

目の合えばニヤーンと甘えた声を出す猫にメロメロわれの
和島町 瀧川 益美

負けなり
和島町 瀧川 益美

退院にソメイヨシノが笑うから私も笑う深呼吸して
立江町 湯浅かや子

すだちくん森のシアターは雰囲気をがらりと変えて能楽始まる
横須町 山崎 泰子